

▶出品作家を紹介します。



jewelry and design 2012.2.4sat▶19sun  
TAPIRUS salon open 11:00▶20:00

展示作品には、被災地の子どもたちが描いた「ふるさとの大好きなところ」が素材として使われています。なのでこの展覧会では、売り上げの一部を、被災孤児の教育費・奨学金として提供する「ハタチ基金」に募金することで、子どもたちの未来に還元します。

MIKI KATO / 画家・アクセサリー作家 (パリ在住)



Parisの風薫る、アンティーク + アートのハルモニア。

本場パリのアンティーク市で吟味した素材と、  
自らのアート作品を組み合わせた、オリジナルアクセサリーを製作。

作家プロフィール:

2001年から本格的にアート活動を開始。中国、スイス、イギリス、ニュージーランド、アメリカでの海外経験を活かし現在フランスで活動中。絵画をベースにアクセサリー/ファッションテキスタイル/壁画等も手がけている。  
見るひとにアートを純粹に楽しんでもらい、思わず笑顔になるような作品を心がけ日々奮闘中。

らくがきアート展覧会へのメッセージ

小さなアーティスト達の未来の為に少しでもお手伝いできればと思い制作しました。  
一人一人が自分にできる事から始める。それが子供達の明るい未来を作り出すと信じています。  
子供達の作品は常に自由で斬新、そして素直です。全てが作品に反映します。  
彼/彼女らが素敵な作品を作り続けていけるよう、  
これからもコラボレーションを通じて手助けしていければと思います。

川路 庸山 / 磁器作家・帽子工房 YOHZAN (宮崎県在住)



どこか異邦の美意識にほふ、磁器と帽子のマイスター-YOHZAN。

東京ガールズコレクションへの作品提供はじめ、多くのアーティストとの  
コラボレーションでも知られる注目のアートマイスターが、らくがきアートに参加。

作家プロフィール:

幼少の頃より手から離さなかった油粘土を磁器土に変え、昔ながらの自由な感覚のまま制作を続ける。  
大人になりきれない大人。制作物が空間に与える空間支配に興味を持ち、南九州唯一の磁器専門工房という看板を背負いつつ、現在、『陶磁器工房・庸山窯』・『帽子制作工房・YOHZAN』の2ブランドで、様々な活動に取り組んでいます。

らくがきアート展覧会へのメッセージ

大人になるにつれ、創造やイマジネーションをする感覚は薄れていっているのではないかと思います。  
私達はこうした活動や作品を通して、少しでもモノを創る楽しさやイマジネーションをする喜びを脳裏に呼び起こしてもらい、心地よく・楽しく自由な感覚を思い出してもらえたらと思います。  
『童心こそ発想の原点である』  
想像し、創造していた時代を今一度、楽しんで欲しいと願っています。

ca37 / らくがきアート作家 (愛知県在住)



国境・文化・肌の色に縛られず、大人が子どもの奨学を支援できるアート。

子どものらくがきが持つ原始の爆発力を、こころの闇を彩る「火花」の風情に変換する  
独自のらくがきアートを製作。今回は、ジクレープリントにて作品展示。

作家プロフィール:

物心ついたころから、吃音障害。言葉の代わりに、らくがきで気持ちを表現する人生がはじまる。  
音楽や空間の中に身を置き、瞑想。ペンを持った手が勝手に動き出し、紙に描き出されたドロイングをもとに独自のアート作品を制作。現在は、こどものらくがきも素材に加えた、らくがきアートを発表している。

らくがきアート展覧会へのメッセージ

はじめまして、らくがきアーティストのca37と申します。こどものらくがきをベースに、  
アート作品を制作しています。また、それらのアートは、メーカーやものづくり作家を通じて、  
洋服や雑貨・ファブリック商品に展開。収益の一部で、世界のこどもたちの「奨学」を支援する、  
「ソーシャルアート」事業を行っています。私たち大人が、普段通り、「美しいもの・愛おしいもの」を  
求める事で、「こどもたちの夢や自立」を応援するアート社会貢献。興味のある方は、是非握手してください。